

魚津市内の直播（カルパー）の生育は、県平年に比べ草丈が短く、茎数が多く、葉色が平年並となっています。直播（鉄コ）の生育は、県近年に比べ草丈は長く、茎数は近年並で、葉色はやや濃くなっています。また、幼穂形成期はそれぞれ7/18頃、7/21頃と見込まれます。生育状況や今後の気象に応じて、穂肥施用や水管理を的確に行いましょう。

【魚津市水稻直播調査ほの生育状況】7月16日現在

()は予測値

直播	年度	播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉齢 (L)	葉色	幼穂形成期 (幼穂2mm)	出穂期
カルパー	R3魚津	5/8	69.4	533	10.8	3.9	7/18	(8/9)
	R2魚津	5/9	75.6	520	12.0	4.1	7/19	8/12
	県平年	5/2	78.1	497	11.6	3.9	7/16	8/7
鉄コ	R3魚津	4/30	81.4	537	11.4	4.1	(7/21)	(8/12)
	R2魚津	4/27	83.2	587	12.1	3.9	7/16	8/12
	県近年	5/1	75.3	526	11.9	4.0	7/17	8/8

注) 令和3年度より県平均を集計しなくなったため、

県平年：H22～R元平均、近年：H26～R元平均として参考値にする。

ポイント1 葉色に応じた肥培管理を行いましょう。

1 基肥一発肥料の場合

基本的に追肥は行わないで下さい。

ただし、出穂1週間前の葉色が4.0（砂壤土4.2）未満と薄い場合は、

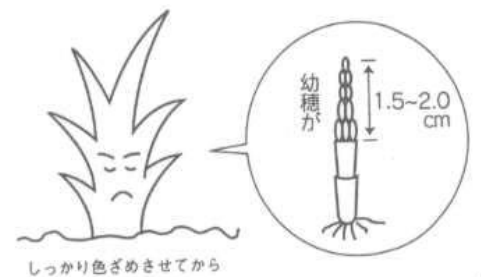
出穂3日前までに 追肥3号を7kg/10a程度施用しましょう

2 分施肥系の場合

ほ場によって生育の進みに差があるので、穂肥は必ず幼穂を確認してから施用しましょう。

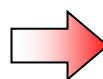
(1) 1回目穂肥の施用方法

○株の最も長い茎を5本以上調べ、幼穂長が平均1.5～2.0cmの時期が穂肥施用時期の目安です。



【穂肥施用時の生育量が標準の場合】

幼穂長	草丈	葉色
1.5～2.0cm	78cm	3.5



肥料名および施用量
追肥3号 10kg/10a

【穂肥施用時の生育量が過剰の場合】

幼穂長 1.5～2.0cm 頃（1 回目穂肥施用時期）の生育量が過剰な場合、1 回目の穂肥は下表を参考に対応して下さい。

草丈	葉色		
	3. 6～3. 7	3. 8～4. 0	4. 0を超える
82～ 90cm	施用を3日程遅らせる 又は施用量を7kg程度に減らす	施用しない	施用しない
90cmを 超える	(営農担当員にご相談ください)	施用しない	施用しない (倒伏軽減剤の使用)

(2) 2回目穂肥の施用方法

～穂揃期葉色を 4.2～4.5 に誘導（砂壤土は 4.5）～

時 期： 1 回目穂肥の 7 日後

肥料及び施用量： 追肥 3 号 10～13kg/10a

*ただし、1 回目穂肥の施用を控えた場合は、十分に色ざめを確認し、出穂の 3～4 日前までに、確実に施用しましょう。

ポイント2 水管理を徹底しましょう。

- 出穂期までは「飽水管理」とし、出穂後20日間は「湛水状態」を保ちましょう。
- フェーンが予想されるときは事前にかん水し、品質低下を防ぎましょう。



ポイント3 病虫害防除は確実に実施しましょう。

- 基本防除を徹底し、いもち病やカメムシ斑点米の発生を防止しましょう。

【8月9日に出穂した場合の防除時期の目安】

	1 回目（穂揃期頃）	2 回目（傾穂期頃）
防除日の 目安※	8月12日頃	8月19日頃
農薬名 (散布量)	ラブサイドスタークル 粉剤 DL (4kg/10a)	キラップ粉剤 DL (4kg/10a)
使用時期	収穫 7 日前まで	収穫 14 日前まで

